

悪政の荒波から市民の命とくらしを守るべき

民報
おうしゅう
読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町3-3
Tel 24-2021
Fax 24-2049



奥州市役所

奥州市議会2月定例会は、3月10日閉会しました。最終日には令和5年度一般会計予算案や請願等について、採決が行われました。

市議会は、2月定例会に倉成市長より提出された令和5年度一般会計予算など予算案11件について、2月27日から3月6日の予算審査特別委員会で審議しました。

日本共産党奥州市議団は、市民の福祉向上のため、軍事費2倍化、消費税インボイス制度導入、新型コロナウイルス感染症の5類移行などの岸田政権の悪政の荒波から市民の命とくらしを守るべく、市政のあらゆる分野で、倉成市政を質し、市民の声を届けました。

子どもの医療費助成の窓口負担ゼロを評価

10日の定例会最終日本会議で、瀬川貞清議員は、日本共産党奥州市議団を代表して、令和5年度一般会計予算案に反対討論しました。

まず、高校生まで医療費の窓口負担ゼロを達成したこと、職員採用で実質20人増加したことなどを評価しました。

官製ワーキングプアはなぐならないのでは

瀬川議員は、官製ワーキングプアの解消が見えてこないこと、特別養護老人ホームの待機者解消のために施設に対して重い介護度入所者支援をすべきであること、農家の営農意欲を育み農家に寄り添う農政になっていないこと、地元中小企業の人材確保に具体策が見えてこないこと、などを挙げて反対理由としました。

私学教育を充実・発展させるための請願採択

私学助成をすすめる岩手の会（会長 土屋直人）と私学助成促進胆江協議会（会長 岩本圭輔）が提出した「私学教育を充実・発展させるための請願」は、3月7日の教育厚生常任委員会で採択されました。

公明党と新奥会の議員が反対討論

同請願は10日の最終日に上程され、佐藤美雪議員と今野裕文議員が賛成討論しました。公明党の阿部加代子議員と新奥会の小野優議員が反対討論しました。

県内高校の公私立間格差は是正されていない

佐藤美雪議員は、賛成討論の中で、奥州市の私立学校運営補助金が令和2年度の予算見直し以降年々減額されていること、施設・設備の維持にも苦慮する厳しい学校運営であること、岩手県の高校生一人あたりの年間公費負担額が公立と私立の間の格差は正されていないことを挙げて、請願採択賛成討論しました。

3・13 重税反対統一行動 第49回胆江地区集会開催



今日は、小雪が舞っていた12年前とは違い暖かい。12年前のこと、この間のことがよみがえります。3月11日が近づくと大震災と原発事故の報道が増えて、何となく苦しくなります。

こんな実態があるのかと怒りと悲しみに震えることもあります。11日が過ぎれば、報道はばつとなくなってしまうけれど、事故も被害も続いている。

東日本大震災と

福島原発事故から12年

なぜ原発帰国なのか！



日本共産党
参議院議員
いわぶち友

3月11日

それなのになぜ原発帰国なのか。原発事故さえなければ失うことのなかった命があり、当たり前の日常があります。

これは福島だけの問題ではないと強く思った一日。

原発帰国を許すわけにはいかない。



東日本大震災追悼復興祈念式

3・13 重税反対統一行動・第49回胆江集会が、水沢南地区センターで開催されました。胆江民商、胆江・江刺・前沢・衣川・水沢の各農民組合、年金者組合から約350人が参加しました。千葉敦実行委員長が大軍拡反対や消費税減税を求め挨拶をしました。

党を代表して今野裕文議員が来賓挨拶。また、市議団からは菅原明・佐藤美雪両議員も参加しました。集会後、雨の中、水沢税務署までデモ行進しました。